

幼小の接続の中から生まれた 初めての引き渡し訓練

5月6日(金)に、金谷川小学校と合同の「引き渡し訓練」を行いました。

「引き渡し訓練」とは、11年前に発生した東日本大震災の折、いつまでも続く余震の中、子どもたちを安全・確実に保護者のもとへ返すことがいかに難しいことかという現実を踏まえて、各学校で始まった訓練です。

これまでまつかわ幼稚園では、引き渡し訓練そのものを行っていませんでした。幼稚園は、保護者の送迎が基本なので、訓練そのものの発想がなかったのかもしれませんが、ましてや小学校との合同の訓練は、想定もされていませんでした。

昨年度から金谷川小学校といろいろな面で話し合う機会が多くなり、幼稚園とのつながりを強く感じるようになってきていました。その中で出てきたのが「引き渡し訓練を一緒にやろう」という案でした。

幼稚園と小学校に通う兄弟姉妹もいる中で、いざという時、保護者が安心して子どもを受け取ることができる方法を確認しておくことは、とても重要なことであると幼小で確認し、この訓練が実現しました。



今回の訓練は、年長組の預かり保育のない子どもを対象としたので、あまり参加者は多くなかったのですが、順調に進めることはできました。次回は、多くの保護者が参加できるように計画を立てていきたいと思えます。